



小学校中学年《3・4年生》のみなさんへ

冬休みおすすめ本リスト

登別市立図書館 [2023年版]

	書名 作者名 しゅっぱんしゃ	ないよう
絵本	「「いたいっ!」がうんだ大発明」  バリー・ウィッテン シュタイン クリス・スー こだま ともこ 光村教育図書 文 絵 訳	おくさんのジョセフィンさんが台所で指先に切りキズを作っているのを見たアルさんは、ガーゼを作る会社につとめているけいけんを生かし、「ばんそうこう」を作りました。そしていつか世界中の人々の「いたいっ!」を止めることになるのです。
絵本	「戦争をやめた人たち」 1914年の クリスマス休戦  鈴木 まもる 文・絵 あすなる書房	「家に帰りたい」「サッカーがしたい」、そんな話をしていたイギリス軍の元に、敵(てき)であるドイツ軍のほうからクリスマス・キャロルの歌声が聞こえてきました。その日は12月24日のクリスマス・イブでした。第一次世界大戦中に、戦場で本当にあったきせきのようなお話です。
絵本	「スワン」  アンナ・パブロワのゆめ ローレル・スナイダー 文 ジュリー・モースタッド 絵 石津 ちひろ 訳 BL出版	9才のときに初めてバレエを見たアンナは、すっかりむちゅうになってしまい、家ではいつもユラユラクルクルと、おどり続けていました。そしてとうとうバレエ学校に合格(ごうかく)することができたのです！世界中の人たちに感動をあたえたバレエダンサーアンナ・パブロワの半生を、うつくしくえがいています。
絵本	「伝え守る」  アイヌ三世代の物語 宇井 真紀子 写真・文 少年写真新聞社	大阪から北海道へ引っこしたアイヌの血を引く家族は大好きなじいじから歌や料理や工芸、自然とくらす知恵などのアイヌ文化を受けついでいました。大切なことを守り伝える、三世代のすがたを写真でしようかいています。
図書	「源氏物語」 げんじものがけり 姫君、若紫の語るお話  紫式部 原作 石井 睦美 文 佐々木 メエ 絵 加藤 康子 監修 学研プラス	平安京の時代、千年ほど前にえがかれた源氏物語。姫君の若紫(わかむらさき)が、後に出会う「源氏の君」に起きたさまざまな出来事を語ります。身分の低さに自由をはばまれ、苦しい心をかかえながら本当の愛を探した光源氏の物語を、読みやすい文章でつづっています。

	書名 作者名 しゅっぱんしゃ	ないよう
図書	「晴さんのにぎりずし」  佐川 芳枝 作 かわい ちひろ 絵 佼成出版社	久絵(ひさえ)のうちはおすし屋さんです。ある日お母さんが入院してしまい、おすし屋さんもしばらくの間お休みしなくてはいけなくなりました。そんな時、女性(じょせい)のすし職人(しょくにん)さんがお店を手伝いに来てくれるようになり、晴さんがどんな風に仕事をするのか、久絵はきょうみがわいてきました。
図書	「大人も知らない?ふしぎ現象事典」  「ふしぎ現象」 研究会 編 ヨシタケ シンスケ 絵 マイクロマガジン社	身の回りで起こる不思議な現象には名前があります。「会いたいと思っていた人に、バッタリ会えた」「見ちゃダメと言われると、よけいに見たくなる」「テスト前に部屋のそうじをしたくなる」だれもが体験したことのある現象をイラストとコラムでしようかいています。
図書	「チイの花たば」  森 絵都 作 たかお ゆうこ 絵 岩崎書店	おばあちゃんがまほう使いみたいにきれいな花束をつくるのを見たチイは、自分もお花屋さんになりたいと思いました。そのためには花にためされるテストがあるらしいのですが…。花畑でくりひろげられる不思議な花のテストにチイは無事ごうかくすることができるのでしょうか？
図書	「オンポロやしきの人形たち」  フランシス・ホジソン・ バーネット 作 平澤 朋子 絵 尾崎 愛子 訳 徳間書店	ある日、子ども部屋にピカピカで新しい人形の家がきてオンポロやしきは、すみっこのほうへおしこまれました。中に住む6人の人形一家も、見た目はボロボロですしけっして上品とは言えませんでした。いつも陽気に歌ったりピアノをひいたり、とびきり大わらわいたり、どんな時でも明るく楽しくらしていたのです。
図書	「珪藻美術館」 けいそう びじゅつかん ちいさな・ちいさな ガラスの世界  奥 修 文・写真 福音館書店	顕微鏡(けんびきょう)の中に広がる珪藻という「藻(も)」は、光かがやくガラスの殻(から)を持っています。1ミリの10分の1よりも小さいそれらをならべ、一つ一つの大ききのちがいを利用してデザインする世界一小さなガラスアート作品です。